

システム名	災対用ビル別情報マップ		
章番号	第2章 画面設計		
機能名			
2. 3. 9 フリーワード			
2. 3. 9. 1 フリーワード一覧			
2. 3. 9. 2 フリーワードCSV登録			

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第2章 画面設計

機能名

2. 3. 9 フリーワード

画面名

2. 3. 9. 1 フリーワード一覧

・キー16～20タブを選択時

キー1～5		キー6～10		キー11～15		キー16～20		< 1 2 >	
フリーワードID	住所	キー16	キー17	キー18	キー19	キー20			
1	東京都新宿区〇〇〇	▲▲▲▲▲▲▲▲	▼▼▼▼▼▼▼▼	●●●●●●●●	○●○●○●○●	□□□□□□□□			
2	東京都新宿区〇〇〇	▲▲▲▲▲▲▲▲	▼▼▼▼▼▼▼▼	●●●●●●●●	○●○●○●○●	□□□□□□□□			
3	東京都新宿区〇〇〇	▲▲▲▲▲▲▲▲	▼▼▼▼▼▼▼▼	●●●●●●●●	○●○●○●○●	□□□□□□□□			
4	東京都新宿区〇〇〇	▲▲▲▲▲▲▲▲	▼▼▼▼▼▼▼▼	●●●●●●●●	○●○●○●○●	□□□□□□□□			
5	東京都新宿区〇〇〇	▲▲▲▲▲▲▲▲	▼▼▼▼▼▼▼▼	●●●●●●●●	○●○●○●○●	□□□□□□□□			
6	東京都新宿区〇〇〇								
7	東京都新宿区〇〇〇								
8	東京都新宿区〇〇〇								
9	東京都新宿区〇〇〇								
10	東京都新宿区〇〇〇								

No.	説 明				
1	<div>【検索エリア】</div> <div>・ 検索条件に該当するフリーワード情報のみを抽出して、一覧を絞り込み表示する。</div> <div>【検索ボタン】</div> <div>ボタン押下で、入力条件に該当するフリーワード情報を検索し、結果を一覧エリアに表示する。</div> <div>【クリアボタン】</div> <div>ボタン押下で、検索エリア内項目を初期表示時の状態に戻す。</div>				
2	<div>【フリーワード一覧エリア】</div> <div>・ フリーワード情報を一覧表示する。</div> <div>・ フリーワード一覧は、以下のソート項目で並び替えした後に初期表示する。</div> <table><tr><td>ソート項目</td><td>ソート順</td></tr><tr><td>フリーワードID</td><td>昇順</td></tr></table> <div>【フリーワードCSV登録画面へボタン】</div> <div>ボタン押下で、フリーワードCSV登録画面へ遷移する。</div>	ソート項目	ソート順	フリーワードID	昇順
ソート項目	ソート順				
フリーワードID	昇順				

システム名		章番号		機能名			
災対用ビル別情報マップ		第2章 画面設計		2. 3. 9 フリーワード			
画面名		2. 3. 9. 1 フリーワード一覧					
【2】画面項目定義							
No.	項目名	コンポーネント種別		必須 入力	項目説明		
		出力形式	入力形式		属性	最大文字数	初期表示
【ヘッダーバー】2. 3. 1 共通機能 2. 3. 1. 1 共通処理参照							
1	地図に戻る	ボタン	—	—	—	—	
2	ヘッダー文言①	テキストエリア	—	—	—	—	
3	ヘッダー文言②	テキストエリア	—	—	—	“ユーザ名:” + ログイン中のユーザ名	
4	ヘッダー文言③	テキストエリア	—	—	—	“組織名:” + ログイン中のユーザの組織名	
5	前に戻る	ボタン	—	—	—	“検索結果:” + 一覧表示中のフリーワード情報件数+“件”	
【メッセージエリア】							
6	メッセージエリア	テキストエリア	—	—	—	—	
【検索エリア】							
7	災害名	プルダウン	—	○	—	—	
8	住所	テキスト	—	—	—	—	
9	キー	テキスト	—	—	—	—	
10	キー対象	プルダウン	—	—	—	—	
11	検索	ボタン	—	—	—	—	
12	クリア	ボタン	—	—	—	—	
【フリーワード一覧エリア】							
13	フリーワードCSV登録画面へ	ボタン	—	—	—	—	
2. 3. 1 共通機能 2. 3. 1. 1 共通処理参照							
15	フリーワードID	テキスト	—	—	—	—	
16	住所	テキスト	—	—	—	—	
17	キー1	テキスト	—	—	—	—	
18	キー2	テキスト	—	—	—	—	
19	キー3	テキスト	—	—	—	—	
20	キー4	テキスト	—	—	—	—	
21	キー5	テキスト	—	—	—	—	
22	キー6	テキスト	—	—	—	—	
23	キー7	テキスト	—	—	—	—	
24	キー8	テキスト	—	—	—	—	
25	キー9	テキスト	—	—	—	—	
26	キー10	テキスト	—	—	—	—	
27	キー11	テキスト	—	—	—	—	
28	キー12	テキスト	—	—	—	—	
29	キー13	テキスト	—	—	—	—	
30	キー14	テキスト	—	—	—	—	
31	キー15	テキスト	—	—	—	—	
32	キー16	テキスト	—	—	—	—	
33	キー17	テキスト	—	—	—	—	
34	キー18	テキスト	—	—	—	—	
35	キー19	テキスト	—	—	—	—	
36	キー20	テキスト	—	—	—	—	

※1 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

※1 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

システム名	災対用ビル別情報マップ
章番号	第2章 画面設計
機能名	
2. 3. 9 フリーワード	
画面名	2. 3. 9. 2 フリーワードCSV登録

【1】画面定義

No.	説 明
1	<p>【フリーワードCSV登録エリア】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定したCSVファイルの情報をフリーワード情報に一括登録する。 <p>[参照ボタン] ボタン押下で、フリーワード情報登録用CSVファイルの指定を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ファイル選択ダイアログを開く。 ファイル選択ダイアログにてフリーワード情報登録用CSVファイルの指定を行う。 ”開く”ボタンを押すことで、CSVファイル欄に指定したファイル名を表示する。 <p>[登録ボタン] ボタン押下で、CSVファイル欄に指定したファイルの情報を一括登録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※災害に紐づく、過去に登録されていたフリーワード情報は全て削除する。 ※緯度、経度が存在する場合のみ住所を導出する。 ※登録する情報は画面で選択した災害に自動で紐付けされる。 一括登録確認ダイアログを表示する。 CSVファイルについて、拡張子やファイルサイズのチェックを行う。 CSVファイル内のデータについて、レイアウトや必須、属性、桁数等のチェックを行う。 チェックに問題なければDBにユーザ情報を登録する。 ※項目の設定に誤りがある場合はエラー情報をファイルに出力して登録しない。 <p>[クリアボタン] ボタン押下で、CSVファイル欄の項目を初期表示時の状態に戻す。</p>

システム名	章番号	機能名
災対用ビル別情報マップ	第2章 画面設計	2. 3. 9 フリーワード
画面名	2. 3. 9. 2 フリーワードCSV登録	

【2】画面項目定義

No.	項目名	コンポーネント種別		必須 入力	項目説明		
		出力形式	入力形式		属性	最大文字数	初期表示
【ヘッダーバー】					2. 3. 1 共通機能 2. 3. 1. 1 共通処理参照		
1	地図に戻る	ボタン		—	地図画面に戻る。		
		—	—	—	—	—	—
2	ヘッダー文言①	テキストエリア		—	ログイン中のユーザ名を表示する。		
		テキスト	—	—	—	"ユーザ名:" + ログイン中のユーザ名	
3	ヘッダー文言②	テキストエリア		—	ログイン中のユーザ名が所属する組織名を表示する。		
		テキスト	—	—	—	"組織名:" + ログイン中のユーザの組織名	
4	ヘッダー文言③	テキストエリア		—	非表示。		
		テキスト	—	—	—	非表示	
5	前に戻る	ボタン		—	前画面に戻る。		
		—	—	—	—	—	—
【メッセージエリア】							
6	メッセージエリア	テキストエリア		—	エラーがあった場合は、エラーの内容を表示(※1)する。		
		テキスト	—	—	—	非表示	
【フリーワードCSV登録エリア】							
7	参照	ボタン		—	押下でファイル選択ダイアログを表示する。		
		—	—	—	—	—	—
8	登録	ボタン		—	入力値のチェックを行い、問題ない場合はCSVファイルからフリーワード情報を一括登録する。		
		—	—	—	—	—	—
9	クリア	ボタン		—	CSVファイル欄に設定された値を初期表示時の状態に戻す。		
		—	—	—	—	—	—
10	災害名	プルダウン		○	災害名を選択する。		
		—	選択		—	—	フリーワード一覧画面で表示中の災害名を表示する。
11	CSVファイル	テキスト		—	取り込むCSVファイルのパス付き名称を表示する。		
		—	—	—	—	—	空欄

※1 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。